

キトラ古墳石室閉鎖に関する調査について

キトラ古墳の整備方針に基づき、「キトラ古墳の石室は学術上極めて価値の高い文化財であり、保存上の観点から、古墳に残されている状態のまま閉鎖することとしている。

石室閉鎖に際して、埋め戻しによる石材への影響や石材の状態把握等、石室内外の考古学的な調査を以下の日程で実施し、その結果を報告する。

○ キトラ古墳石室の考古学的調査

日 時：平成 25 年 2 月 18 日～27 日

場 所：キトラ古墳内

調査機関：国立文化財機構奈良文化財研究所

奈良県立橿原考古学研究所

明日香村教育委員会

調査内容：壁画の剥ぎ取りに際し石室南壁の盗掘孔に設置された「石室進入装置」を取り外し、その周辺を中心に考古学的な調査及び記録を実施。平成 23 年度調査の補足調査（資料 3 - 2）。

○ キトラ古墳石室石材の構造調査

日 時：平成 24 年 12 月 20 日・21 日、平成 25 年 2 月 12 日

場 所：キトラ古墳内

調査機関：国立文化財機構奈良文化財研究所

三村衛委員（京都大学）

調査内容：キトラ古墳石室石材について目視による亀裂等の確認、針貫入試験を用いた石材の強度試験（資料 3 - 3）。

キトラ古墳墳丘埋戻しの天井石の力学的安定性に関する現地調査（資料 3 - 4）。